

【別紙2】

不知火中学校区小中一貫教育推進プラン

【不知火中学校・不知火小学校】

宇城市教育大綱（R7～R10）

「優・元・実・行」

～24時間をデザインする力の育成とウェルビーイングの向上～

令和7年度宇城市「教育総務課」取組の方向

小中一貫教育を進めるための方針～宇城市～

【目標】

9年間の義務教育における系統的・継続的な学びをとおして、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成を図る。

【小中一貫教育で期待される教育効果】

- 1 学習指導上の成果をあげる
- 2 生徒指導上の成果をあげる
- 3 教職員の意識改革と指導力の向上

【具体的工夫】

1 中学校区での目指す子供像の設定

宇城市5つの中学校区でそれぞれ小中一貫教育推進プランを定め、共通課題解決の取組を進め目指す子供像の具現化を図る。

2 育ちや学びの連続性の確保

実態に沿って、次の項目について9年間の系統性・連続性を強化する。特に接続期の系統性・連続性を重視する。
①教育課程の編成、②生徒指導の充実・学習規律の徹底、③指導方法の工夫改善、④効果的な家庭学習、
⑤教育活動の連携、⑥教職員の連携・協働、⑦地域やPTAとの連携・協働

3 一人一人のニーズに応じた支援指導

学校間及び関係機関との連携・協働を図り、深い児童生徒理解に基づいた関わりによって、小中学校接続期からの自尊感情の低下、問題行動及び不登校児童生徒の出現に歯止めをかける。

宇城市が目指す子供像

～基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得とこれらを活用して課題解決に必要な思考力、判断力、表現力等の育成及び、主体的に学習に取り組む児童生徒～
～夢や希望を持ち、人と人との絆を大切にしながら、社会の一員として主体的・創造的に生きていく児童生徒～
～自ら運動に親しみ、体力を高め、健康で安全な生活のできる資質や能力を備えた児童生徒～

不知火中学校区の目指す子供像

豊かな人生とよりよい社会を創造する
「徳・知・体」の調和のとれた子ども

各学校の教育目標

不知火中学校

自らの可能性を拓げ、未来を切り拓く生徒の育成
～確かな学力、豊かな心、健やかな体を育む教育の推進～

不知火小学校

一人一人が自分の輝きを広げ 進んで行動する児童の育成
～仲間とともに「輝☆動☆力」を身につける不知火っ子～

課題解決のための小中一貫の取組

- 1 (学習規律に係る内容) . . . (共通課題1)
・聞き方や聞く姿勢を「育ちのものさし」をもとに、学年に応じて段階的に指導していく。
- 2 (家庭学習に係る内容) . . . (共通課題2)
・週に1回、家庭学習の日を設けるなど、家庭学習の習慣化を図る。
・情報モラルの指導も含めてタブレットの活用も行う。
- 3 (運動・健康に係る内容) . . . (共通課題3)
・中学校の取組を参考に学年に応じた体力づくりを進める。
・就寝時間、ノーメディアの時間など共通の時間を示し、MC10の取組を進める。
- 4 (心の育成に係る内容) . . . (共通課題4)
・「育ちのものさし」をもとにルールやマナーの大切さや必要性を考える時間を設ける。
・小中合同のあいさつ運動や委員会を通してあいさつや返事言葉遣いの大切さを呼びかけていく。

校区における共通課題

- 1 (学習規律に係る内容)
・チャイム着席は改善傾向にあるが、学習に向かいづらい子供もいる。
・集中して話を聞くことができず、姿勢が崩れがちな子供がいる。
- 2 (家庭学習に係る内容)
・習慣化のために、課題を出す際の工夫が必要である。
・取り組む時間や内容、質に個人差がみられ、支援が必要である。
- 3 (運動・健康に係る内容)
・体力は改善傾向にある。ただし、肥満傾向の児童の増加、う歯治療率の低下がみられる。
・メディア利用により生活リズムが乱れがちな子供が増えてきている。
- 4 (心の育成に係る内容)
・規範意識が低く、ルールやマナーを守れない子供がいる。
・挨拶や返事が十分にできなかったり、相手を思いやる言葉遣いができなかったりする子供がいる。